

にぎわいの南富良野

誇れる産業のまち

第2は、にぎわいの南富良野 誇れる産業のまちづくりであります。

経済不況が長期化し、地域経済も大変厳しい状況にある中で、町の基幹産業であります農業、林業、商工業の振興については、現在極めて厳しい町財政の状況の下ではあります。最大限の努力をしております。

特に、本町の基幹産業であります農業については、地域農業のあるべき姿をめざし、人参、馬鈴薯、米、大麦、そば、施設園芸作物などを基幹作物として、各地域の特色を持った農業の形態が確立されており、関係機関と連携を密にし、高質で安定的な農産物の生産に努め所得の確保につながるような農業の振興に努めてまいります。

また、21世紀は環境の世紀といわれ、森林の果たす役割は大きく、本町の広大な森林を守り育てるためにも森林組合と十分連携を取

りながら、林業の振興に努めてまいります。間伐材、伐根などを利用した木質バイオマスの実用性などについて検討してまいります。

商工業であります。地域商工業の発展を図るには商工会の取り組みが重要であり、経営改善普及事業など経営指導体制の強化に努めていただき、商工業振興起業促進事業、町融資、経営安定特別資金などの活用や経営者自らも努力をする中で、商工業の振興を図られるよう、引き続き支援をしてまいります。

鉱業の振興については、鉱業振興会への支援とともに、町道幾寅鹿越線は、鉱業振興上からも重要な路線でありますので引き続き路盤整備を進めてまいります。観光の振興については、観光施設について開設期間や管理時間をはじめ、かなやま湖周辺施設の効果的な運営などについて検討を進めてまいります。

いきいきの南富良野

学び楽しむ文化のまち

第4は、いきいきの南富良野 学び楽しむ文化のまちづくりであります。

次代を築く人材を育成するため、ゆとりの中で子ども達一人ひとりの基礎学力の向上や生きる力を育む教育が課題になっており、感動や楽しみのある体験など、学びを支える活動が求められています。

あらゆる世代の人が、それぞれのライフスタイルに合わせて、いつでもどこでも、楽しく、学び楽しむ文化のまちをめざし、従前同様に教育委員会の方針を尊重して、教育環境の整備充実に努めてまいります。

平成17年4月から町内中学校が1校になりますので、校舎となります幾寅中学校の校舎施設、設備など整備をしてまいります。

南富良野高等学校については、過疎化・少子化による生徒数の減少のほか、学校選択の多様化のため、安定した生徒の確保に困難を



来している状況にあります。が、学校の特色づくりを図りながら、生徒や保護者として地域からも期待され信頼される学校づくりが急務でありますので、中学校と高等学校、関係機関と連携をとり、課題解決に努めてまいります。



あんしんの南富良野

健やかな福祉のまち

第3は、あんしんの南富良野 健やかな福祉のまちづくりであります。

住民一人ひとりが健やかに安心して生活ができるよう、平成15年度に策定しました住民の健康づくり計画「健やかみなみふらの」に基づいて、生活習慣病の予防と各種保健事業を促進し、生涯にわたる健康づくりを推進いたします。

医療体制については、町内医師の献身的なご協力をいただき、診療所の運営を図っているところでありますが、更に、各診療所の医師確保に努めてまいります。また、各診療所の診療機器施設の改善充実を図ってまいります。

介護サービス事業については、一味園、くるみ園、デイサービスセンター、地域交流センターを拠点にして、介護予防をはじめ、一味園においては利用者の自立への支援と家庭的な生活の場づくりが求められてお



り、生活を共にするケア、個々に寄り添うケアをめざし、小単位に区分したグループケアの対応を進めてまいります。

住民が互いに助け合う地域福祉づくりについては、本年度中に「次世代育成支援地域行動計画」を策定し、地域における子育て支援サービスの充実を図ってまいります。また、高齢者対応のグループホーム、配食サービス事業の整備を図るとともに、障害者福祉施設の誘致に向け取り組んでまいります。

うるおいの南富良野

快適な生活環境のまち

第5は、うるおいの南富良野 快適な生活環境のまちづくりであります。

美しい自然に囲まれた居住環境のもとで、快適で安全な利便性の高い暮らしが求められています。快適な生活環境のうるおいのまちをめざして、道路、上下水道など計画的に整備を進めてまいります。

少子・高齢社会の中で、福祉施策と連携した快適で安全な、よりよい住まいと住環境の整備と定住の促進に向けて、平成15年度に策定した「住宅マスタープラン及び公営住宅ストック総合活用計画」に基づいて、公営住宅の供給・管理運営を図ってまいります。

最近、かなやま湖畔や空知川でのカヌー、ラフティング、オートキャンプなどのアウトドアや花人街道、物産センター、道の駅、鉄道員（ぼっばや）口ヶセツトの見学など町外から多くの方々を訪れてくれており

また、道道、町道の歩道の一部であります。イン

ターロッキングに整備され、街並み景観が少しずつ変化してきているところです。

このような環境の中で、町内の各地区の街灯であります。北落合地区を除く、下金山、金山、東鹿越、幾寅、落合の5地区の市街地の国道および道道などのメイン通りの街灯は、昭和50年度に整備されたもので、老朽化が目立ち始めてきておりますことから、特に、防犯と交通安全の確保および5地区の市街地の街並み景観づくりを進めるため、街灯を更新整備してまいります。

平成16年度は幾寅地区を、平成17年度は下金山、金山、東鹿越、落合の4地区を整備してまいります。